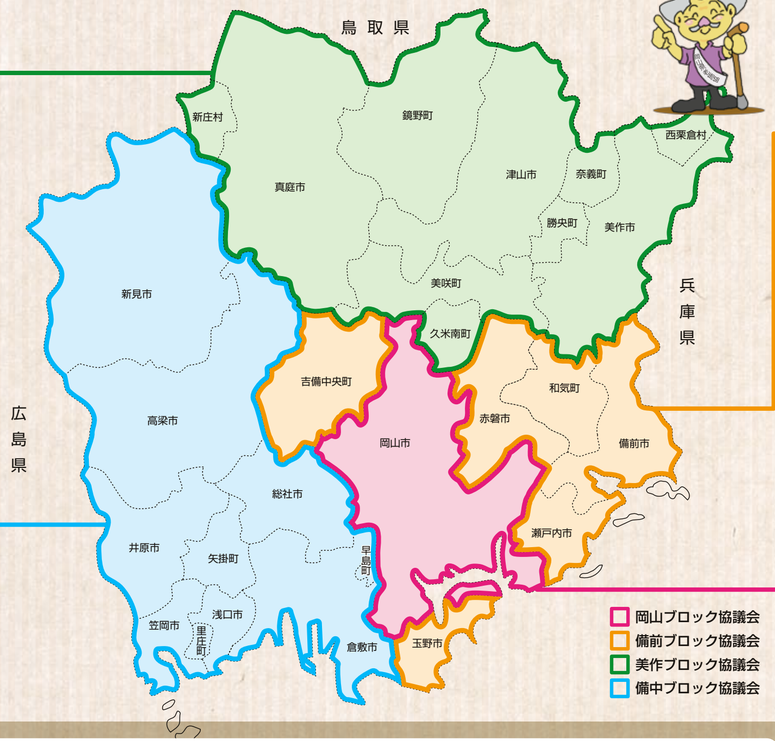
ブロック紹介

岡山県老人福祉施設協議会には4つのブロックがあり。それぞれの地域でも活動をおこなっています。今回はその活動の一部を紹介いたします。



美作ブロック 活動状況

■研修風景

美作ブロック協議会は、岡山県北の津山市・真庭市・美作市・新庄村・鏡野町・勝央町・奈義町・西粟倉村・久米南町・美咲町の施設の集まりで、構成されています。

美作ブロックの特徴は施設間のつながりが強く、みんな仲が良いところが特徴と言えます。定期的な研修会の開催や懇親会などの事業が活発に行われ、特に最近は美作ブロックの施設で行われている様々な取り組みを発表する「津山施設ケア研究発表会」が行われ、美作ブロックの施設職員のみならず、備中や岡山市といった他ブロックの施設職員や地域住民の方も含め、約200名もの参加を頂き、大きな研修会となりました。

備中ブロック 活動状況

■セミナー発表

そもそも備中ブロック協議会とは何でしょうか?

備中ブロック協議会とは倉敷市、総社市、早島町、井原市、笠岡市、高梁市、新見市、浅口市、矢掛町の会員施設の総称を言います。

非常に広範囲ではありますが会員施設間の交流も活発であり、最近ではフットサルを定期開催しているという取り組みもあります。

また、備中ブロック協議会としても会員施設の相互研鑽を目的として、平成26年7月23日㈬に「くらしき健康福祉プラザでセミナー」を開催しました。

このセミナーでは会員施設個々で取り組んでいるケア等を「研究発表」として紹介することで、職員及び施設全体のレベルアップを図ることを目的として開催されており、施設の取り組みを発表し合うことで相互の取り組みを詳しく知ることができる大変有意義なセミナーでした。特に川崎医療福祉大学の内田先生の講演は「研究のいろは」を伝えるもので、参加職員曰く、「発表する前に聞いとけばよかった」と悔しがる職員もいたとか。

今後も備中地区老人福祉施設協議会では楽しみながら学べる取り組みを続けて行きたいと考えています。

■フットサル練習風景

備前ブロック 活動状況

備前ブロック協議会は、備前市、和気町、赤磐市、瀬戸内市、玉野市、吉備中央町にある会員施設で構成された組織です。

備前ブロックでは、施設長をはじめそれぞれの専門職に分かれて研修会を行っています。

施設は違えど、老人福祉への思いはどの施設でも同じであり、いつも活発な意見が飛び交っています。

先日行われた研修会では、施設での新たな取組みを発表する場面もあり、それぞれの職種で工夫した研修会となりました。

職員のレベルアップだけに限らず、備前地域に必要なことは何か、情報交換の場としても多いに役立つ研修会です。

■デイサービス研修会

岡山ブロック 活動状況

岡山ブロック協議会は、市内にある107施設(会員)で構成されており、市全域と市内 北・中・東・南の4つの行政区で分割した区単位との双方で活動を行っています。

本年度も平成21年度より続いている生活相談員・介護職員・看護職員・栄養士の職種別連絡会議として4職種の研修会や施設長会にて交流を実施しており、時事の情報交換や相談、取り組みの紹介などの他、栄養士部会ではメーカーにもご協力頂き、調理実習も行いました。

また、先日は岡山県老人福祉施設協議会 筒井 恵子 現副会長を筆頭に岡山市ブロック協議会の全役員にて、岡山市議会保健福祉委員の議員の方々へ要望書を提出し、約1時間の話し合いの中、我々の厳しい現状の事や27年度改正への要望、そして私たち高齢者福祉に関わる者たちの熱い想いをお伝えしました。

そして、その後岡山市高齢者福祉課を訪問。

第6期高齢者保険福祉計画・介護保険計画の見直しや施策体系についても懇談を行い、来年度ではなく、28年度以降の岡山市ブロック協議会の活動について、今から準備をしていく必要がある事を再認識させられた会となりました。

■相談員部会

■栄養士部会

「『ファジアーノ岡山』ホームゲームに福祉関係者みんなで応援にいこう」との呼びかけに、約150名が参加!!

平成26年7月5日㈯、サッカーJ2の「ファジアーノ岡山」はホーム・カンコースタジアム(岡山市)で、香川県の「カマタマーレ讃岐」と対戦。この試合は岡山・香川にまたがる瀬戸大橋に因み「瀬戸大橋ダービー」と名づけられ、岡山・香川両県から12,000人を超えるサポーターが詰めかけました。

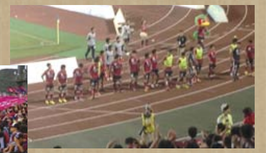
その中、「『ファジアーノ岡山』ホームゲームに福祉関係者みんなで応援にいこう」と岡山県社会福祉法人経営者協議会が声かけを行い、約150名(内、高齢者関係は73名)の福祉関係者が観戦!!

初の瀬戸大橋ダービーに熱い声援を送りました。

結果は、『ファジアーノ岡山』が最後の最後でPKを決め、何とか引き分け。

残念ながら2−2のドローで終わりを迎えましたが、赤(ファジレッド)と青(サックスブルー)でスタンドは埋まり、歓声の中90分を戦った双方の選手に拍手を送りつつ、県内の社会福祉の絆を強く感じる事が出来たイベントとなりました!!

ご参加頂きました皆様、ありがとうございました。



■ファジアーノ岡山

「『介護の日』シンポジウム〜聞いてみよう! 介護の仕事“現場からの発信”」並びに「福祉の仕事パネル展示〜輝くkaigoの人達〜」開催!!

岡山県老人福祉施設協議会は、11月11日の「介護の日」に関連し、平成26年11月8日㈯介護の仕事について知っていただけるイベントとして「『介護の日』シンポジウム〜聞いてみよう! 介護の仕事“現場からの発信”」「福祉の仕事 パネル展示〜輝くkaigoの人達〜」(岡山県・岡山県社会福祉協議会と共催)を開催致しました。「介護の日シンポジウム」では司会に21世紀委員会 池田 英樹委員長(養護老人ホーム松風園)や県内の各ブロックから選出された現場職員の方々が登壇。介護の仕事についてやりがいや魅力を自身の経験を基に発表を行いました。

会場からの質疑応答では「3K(きつい、危険、きたない)や給料安くて結婚できないなどについてどう思うか。」との率直な質問に対し、「住宅ローンも借りる事ができ、現状で満足している。」や「感じた事はない。」などのシンポジストの意見の他、「仕事の内容を考えると、もっと評価されても良い。今後、多方面からの働きかけが必要。」や「看護学に対し、介護学は確立できていない。給与も含め看護と肩を並べようとするなら学問として成り立たせる事が必要。」等といった意見交換が行われました。

また、「輝くkaigoの人達」パネル展では21世紀委員会が中心となって施設・事業所から写真を募集した68枚を展示。

多くの観覧者に見て頂いた中には、養成校の関係者もおられ「卒業生の明るく輝いている写真を見る事ができ、良かった。」などの声を聞く事ができました。

また、**「輝くkaigoの人達」パネル展は、平成26年12月9日㈫〜10日㈬開催の中国ブロックカントリーミーティングin岡山においてもフロア展示され、とても良い評価を頂きました。その事を受け、本年度(平成27年度)も同様に実施する事となりました。**

会員施設の皆さん、ご協力をお願いします!!

■介護の日 パネル展

全国老人福祉施設協議会 平成26年度認知症介護実践リーダー研修

岡山会場

■認知症介護実践リーダー研修

平成26年6月30日㈪から開催していた、標記研修会は9月3日㈬の実習報告・修了式をもって終了しました。

今年度は36名の受講者が認知症研修指導者により講義・演習や自施設・他施設実習をとおして研鑽を深め、全員修了されました。

本研修会は今年で6年目。全員、素晴らしい実習報告をされ、認知症研修指導者の皆様もご関心をお持ちでした。

要請書 提出

政府の税制調査会において、国税の課税ベース一環として社会福祉法人への課税が取り沙汰されたことを受け、平成26年8月6日㈬全国老人福祉施設協議会 石川 憲 会長、中田 清 顧問をはじめ、岡山県老人福祉施設協議会 小泉 立志 現会長、筒井 恵子 現副会長等が出席し、加藤 勝信 衆議院議員(自由民主党 岡山県第五選挙区選出)内閣官房副長官へ要請書をお渡ししました。

全国老人福祉施設協議会と力を合わせ、本会も課税反対の要請活動を行っています!!

■要請書 提出